

# はぼろの将来みんなで考えよう

## 町長と高校生の

## はじめての懇談会

市町村合併をテーマにした、舟橋町長と羽幌高校生の懇談会が十月十七日、羽幌高校で開催されました。市町村合併をテーマにした懇談会は町民の皆さまを対象に、七月二十二日から市街地区十一カ所で開催し、多くの皆さまから貴重なご意見をいただきましたが、若い人の出席が少なく、町では将来のまちづくりの中心となる若い人たちの意見も大事と考え、高校生とはじめての懇談会を開催しました。

高校生は生徒会役員を中心に十四名が出席。まず、町側から市町村合併の概要について説明をし、その後、高校生の皆さんから質問をいただきました。質問に対しては町長が一つ一つわかりやすく説明をしました。その主な質問（印）と説明（印）について、紹介します。



考えている市町村合併は新設合併・編入合併のどちらですか。

合併するためには、合併しようとする市町村の意思統一が必要です。議会の議決を得て法定合併協議会を設置し、十分協議が必要です。国や道の支援や特例は平成十七年三月三十一日までとなっています。

合併しようとする市町村がお互いに対等の立場で話し合いたいと考えています。

合併すると公共料金は高くなるのですか。

公共料金は「安くなる」、「高くなる」とどちらとも言えません。法定合併協議会で公共料金をはじめとして約一万項目について協議し、市町村建設計画を策定しなければなりません。

合併後にはどのくらいの費用がかかるのですか。また、住所・電話番号はどうなるのですか。

法定合併協議会で話し合

われた市町村建設計画の内容によって大きく変わってくるようになりますので、今はわかりません。

また、住所については町の名前が変われば検討しなければなりません。電話番号についても同じです。

わたしは初山別に住んでいますが合併したら、初山別の地名などはどうなるのですか。

初山別村が羽幌町に吸収合併になると決まっていますが、地名や地域の文化は残していくべきだと考えています。

合併について住民にどのような説明をし、反対された場合はどうするのですか。住民の皆さんに情報を正しく提供をし、十分話し合いをします。今後アンケート調査を含めて住民の皆さんの考えを聞く機会を考えています。

また、住民の多くが合併反対であれば、議会と協議

をしていきますが、平成十二年度における羽幌町の収入の五十三%が国からの地方交付税であり、年々減少

しています。町税などの自主財源も減少しており今後

も厳しくなると思われます。行政改革を行なって無駄を

はぶいています。限界があります。町では合併しな

かった場合のシミュレーションを作成中であり、住

民の皆さまにも周知したいと考えています。

合併以外に良くする方法はないのですか。

羽幌にあった国の出先機関が撤退するなど、国の財政も厳しいことから役所の効率を重視して統合しています。市町村合併も同様の考えと思われます。

羽幌町も百億円の借金があり、国全体の景気が悪く雇用も厳しくなり、その様な中で町村の財政を考えると合併は一つの選択肢です。

今後の十年、二十年先を考えると高校生の皆さんの

若いエネルギーと発想に大きな期待を持っています。

合併をすると町議会議員は減るのですか。

現在、苫前、羽幌、初山別を合わせると四十一人から四十二人ですが、合併をした場合幾つかの特例は設けられていますが、いずれにしても減少することになります。

合併特例法の有効期限の延長や合併特例法以外の支援はないのですか。

平成十七年三月三十一日以後の延長はありません。また、合併特例法以外の支援策も示されていません。

町長はどの町の町長になるのですか。また、市街地の拡大はあるのですか。

新設合併の場合は全員失職し、編入合併の場合は編入した町の町長となります。また、市街地の拡大は無いと思います。